



2023年7月25日

NTTコミュニケーションズ株式会社  
エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社

## NTT Com と NTT コムウェア、従業員一人ひとりのエコアクションから脱炭素活動を加速させる 「従業員参加型エコアクションチャレンジ（ONE TEAM CHALLENGE）」を開始 ～環境行動データを可視化・分析することで脱炭素社会の実現を支援～

NTTコミュニケーションズ株式会社（以下 NTT Com）とエヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社（以下 NTT コムウェア）は、従業員一人ひとりのエコアクションから脱炭素活動を加速させる「従業員参加型エコアクションチャレンジ（通称：ONE TEAM CHALLENGE）」を開始します。NTT Com が 2022 年 11 月、CO<sub>2</sub> 排出量可視化アプリケーションと分析ソリューションを活用した「CO<sub>2</sub> 排出量削減をめざす全社イベント」を開催し、環境意識の向上など効果が検証できたことから、環境省の推進する「デコ活（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）<sup>※1</sup>」の一環として、脱炭素社会の実現に向けともに取り組み企業を募集します。

本取り組みにより、アプリケーションを通して従業員一人ひとりのエコアクションを促し、取得した環境行動データを可視化・分析することで個人から企業、企業から社会に脱炭素活動を加速させ、脱炭素社会を実現します。

### 1.背景

2050 年のカーボンニュートラル達成に向けて、CO<sub>2</sub> 排出量の情報開示や再生可能エネルギーの導入による CO<sub>2</sub> 排出量削減が企業経営上の大きな課題になっています。一方で、日本のカーボンフットプリント(ライフスタイルに関連する温室効果ガス排出量)のうち約 6 割が家計消費に由来<sup>※2</sup>しており、カーボンニュートラルを実現するには企業の組織的な取り組みだけでなく、従業員一人ひとりの環境配慮行動が必要不可欠となっています。しかしながら、一人ひとりの環境意識によるところが大きく、事業活動に比べて CO<sub>2</sub> 排出量削減効果が限られることから、従業員への対策は十分取られていない状況です。こうした課題を解決するため、NTT Com と NTT コムウェアは CO<sub>2</sub> 排出量可視化アプリケーションと分析ソリューションを活用して活動成果を可視化することで、環境問題への取り組みを「自分ごと」として考える機会を創出し、企業と社会の脱炭素化の実現を支援しています。昨年 11 月、NTT Com は全従業員 2 万 5,000 人を対象に社内イベント「力を合わせて二酸化炭素削減チャレンジ!<sup>※3</sup>」を実施しました。1 カ月間で 20,534kg の CO<sub>2</sub> (杉 2,333 本相当) を削減するとともに、事後のアンケート回答者のうち、約 8 割の従業員の環境意識が向上、約 7 割の従業員が行動変容を促進したと回答しました。

## 2. ONE TEAM CHALLENGE の概要と狙い

### (1) 概要

- 募集対象：従業員の環境配慮行動を促進し脱炭素社会を実現していきたい企業
- 募集期間：2023年7月25日～2023年8月25日
- 実施期間：2023年7月25日～2023年9月30日の期間中、参加企業が任意に定める21日間
- 参加費用：無料

### (2) 狙い

参加企業の従業員はアプリケーションを利用し、自身の日々のエコアクションによる CO<sub>2</sub> 削減成果を数値として確認することができます。これにより、脱炭素への取り組みをより身近に「自分ごと」と感じることができ、環境行動を起こすきっかけとなります。

参加企業は CO<sub>2</sub> 排出量可視化アプリケーションと分析ソリューションにより蓄積・可視化された従業員全体の環境行動データを分析することで、従業員の環境配慮行動の現状を知ることができます。また、実施後、全参加企業のデータを横断的に集計・分析、レポート化することで、1社ではわからない「全体の傾向」、「業界特性」などから自社の立ち位置を把握し適切な対策を検討することができるため、脱炭素活動をより促進することができます。

企業に属する従業員一人ひとりの行動変容が企業全体の環境行動の促進につながり、さらに取得した環境行動データを活用して脱炭素活動を推進する企業が増えることで、社会全体に脱炭素活動を波及させます。

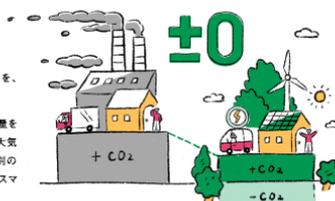
### <参加企業配布ポスター>

**01**

**そもそも、脱炭素社会の実現  
カーボンニュートラルとは？**

地球温暖化の要因である「CO<sub>2</sub>」をはじめとした温室効果ガスの排出を、実質ゼロにしようという取り組みです。

私たちの暮らしでCO<sub>2</sub>の排出を完全になくすることは不可能ですが、排出量をなるべく減らし、やむを得ず排出する分については植物が光合成の際に大気中のCO<sub>2</sub>を吸収してくれる特性を活かし、緑化・森林管理等といった別の形で吸収してもらうことで2050年までに地球全体として実質ゼロ（プラスマイナスゼロ）を目指すというものです。



**02**

話が大き過ぎて、  
何だか実感が湧かない。

節電したり、  
マイボトルを使ったり、  
これって本当に意味があるのかな？

私1人がやらなくても  
大丈夫でしょ？



そんな風に思う人もいます。

**07**

**Green Program  
for Employee**



あなたがチャレンジした、環境に良いことをアプリに登録するとどれだけCO<sub>2</sub>削減に貢献できたかを確認できます。

キャンペーンに参加している他企業の従業員を含めた総合ランキングも確認できるので、仲間と一緒に上位を目指しませんか？

環境知識を深めるクイズや、その他機能も充実。まずは「アプリに登録して」チャレンジしてみよう！

**ONE TEAM CHALLENGE**

**みんなの一步を大きな力に変える21日間チャレンジ**

最近、仕事の中でも「SDGs」や「環境配慮」を求められること増えますよね？  
脱炭素？カーボンニュートラル？  
聞いたことはあるけど、具体的に何をすれば良いのかわからない...  
だったら、まずは手軽にできることから一緒に試してみませんか？

1人では小さな効果だとしても、一緒にやれば大きなチカラになるから。  
社員みんなで、1つのチームとして、チャレンジしてみよう！

**03**

でも実は、日本のCO<sub>2</sub>排出量の約6割は衣食住を中心とする日常生活が起因したもので、国や企業が努力するだけでは実現は難しいんです。

**だから、まずは簡単などころから。**

例えば1日の仕事の中でも、こんな行動なら簡単にできるかもしれません！



**06**

**19:00**

お家に帰ってからも、例えば宅急便を再配達にならないように受け取るだけで、大きな効果があるんです！



宅配便の箱数のうち約15%が再配達。再配達を防ぐと、年間7kgのCO<sub>2</sub>を削減。

**05**

**15:30**

打ち合わせの移動は、タクシーを使わず徒歩・自転車・公共交通機関にする！



通勤・通学以外の移動を自動車以外に置き換えるだけで年間410kgのCO<sub>2</sub>を削減。

**04**

**11:45**

ランチタイムを、週に数回だけ「肉を減らした食事スタイル」に変える。これだけでも、立派な環境配慮行動です！



例えば、主なタンパク質源を野菜や豆類に切り替えるだけで1食0.2kgのCO<sub>2</sub>削減になります。

### 3.各社の役割

■NTT Com：従業員の環境意識向上・行動変容を促進するWEBアプリケーション「Green Program for Employee<sup>※4</sup>」（一部、機能制限有り）を期間中、参加企業に無償提供します。アプリでは、環境省が提唱する「ゼロカーボンアクション30<sup>※5</sup>」にもとづく、日々取り組みやすい環境配慮行動（「エアコンの使用時間を減らした」などのエコアクション）が用意されており、実践した内容を登録することでCO<sub>2</sub>削減量を可視化します。可視化された環境行動データにより、日々の活動によるCO<sub>2</sub>削減成果を実感することができます。また、環境行動データを分析し、環境活動を促進するためのレポートを作成します。

■NTTコムウェア：全参加企業の環境行動データを分析ソリューション「低炭素アクションアグリゲーター」を用いて分析します。参加企業全体の「CO<sub>2</sub>削減量/参加企業数/参加人数/エコアクション数」を算出し、各企業で取り組んだ効果を可視化します。また、企業間でのCO<sub>2</sub>削減量やエコアクション数の相対比較を可能にする横断的な集計データの可視化を行います。

### 4.今後の取り組み

本取り組みの結果を踏まえ、さまざまな業界の企業と連携し、環境行動データにとどまらず、日々の行動を記録したライフログなど、環境に関係するデータを組み合わせて提供することにより、脱炭素社会の実現に取り組めます。

---

NTTドコモ、NTT Com、NTTコムウェアは、ドコモグループの法人事業を統合し、法人事業ブランド「ドコモビジネス」を展開しています。「モバイル・クラウドファースト」で社会・産業にイノベーションを起こし、すべての法人のお客さま・パートナーと「あなたと世界を変えていく。」に挑戦します。



<https://www.ntt.com/business/lp/docomobusiness.html>

※1：環境省「デコ活（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）」のホームページ。

[https://ondankataisaku.env.go.jp/cn\\_lifestyle/index.html](https://ondankataisaku.env.go.jp/cn_lifestyle/index.html)

※2：出典：「国内52都市における脱炭素型ライフスタイルの選択肢：カーボンフットプリントと削減効果データブック」  
小出 瑠・小嶋 公史・南齋 規介・Michael Lettenmeier・浅川 賢司・劉 晨・村上 進亮（2021）

[https://lifestyle.nies.go.jp/assets/pdf/carbonfootprint\\_databook.pdf](https://lifestyle.nies.go.jp/assets/pdf/carbonfootprint_databook.pdf)

※3：「力を合わせて二酸化炭素削減チャレンジ！」は、2022年11月1日（火）～30日（水）の1か月間実施しました。「Green Program for Employee」を活用し、組織対抗でCO<sub>2</sub>削減にチャレンジし、一人当たりの二酸化炭素削減量、参加率、食事記録等登録率で好成績の上位3組織を表彰しました。

※4：「Green Program for Employee」は、従業員の環境問題への意識向上、理解促進を目的として企業向けに提供するアプリケーションです。日々の活動の記録やクイズなどを通じて従業員の環境問題への理解を深めるとともに、従業員一人ひとりの行動変容を促すことで、企業活動だけでなく従業員の生活から排出される温室効果ガスをも低減させていくことを目指しています。詳しくはこちらをご参照ください。

<https://www.ntt.com/business/solutions/gxesg.html>

(参考)「Green Program for Employee」紹介動画

[https://players.brightcove.net/5668750164001/By9EPnvWG\\_default/index.html?videoId=6313725501112](https://players.brightcove.net/5668750164001/By9EPnvWG_default/index.html?videoId=6313725501112)

※5 : 環境省「ゼロカーボンアクション 30」のホームページ

<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/zc-action30/>